



D.REPORT

第105期中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第105期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)における当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役
社長執行役員 億田 正則



当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済活動が大幅に制限されたことにより、極めて厳しい状況が続きました。また、世界経済につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響に加えて、米中貿易摩擦など経済環境をさらに下押しするリスク要因にも引き続き直面しました。

国内の住宅建設分野におきましては、消費増税後の反動減に、新型コロナウイルス感染拡大の影響が加わり、新設住宅着工、リフォームともに低調に推移しました。公共・商業建築(非住宅建築)分野におきましても、インバウンド需要の急減に伴う商業施設・宿泊施設の工事の中断・延期により、厳しい環境となりました。

海外におきましては、前連結会計年度からの米中貿易摩擦などによるアジアを中心としたMDFの市況悪化の影響が続く一方で、第1四半期連結会計期間に建設工事の中断による需要減の影響が大きかった米国で、当第2四半期連結会計期間以降に住宅着工件数が急回復する動きもみられました。

このような経営環境の中、当社グループは、2019年度からスタートした中期経営計画『GP25 2nd Stage』の2年目にあたり、基本方針として掲げる「事業(市場)ポートフォリオの見直し」を着実に進めるべく、国内では新築住宅市場から公共・商業建築分野への営業人員のシフトを加速させるなどの体制強化に加え、8月には「不燃製品のラインアップ強化」「抗ウイルス機能建材の拡充」などのコンセプトを軸とした2020年度新製品を発売し、“安全・安心・健康・快適な空間づくり”に対応するための提案力強化を図りました。

また、海外では、前連結会計年度に実施したM&Aを軸に拡大を目指す北米市場におきまして、住宅の梁(はり)な

どの構造材として使用される主力製品のLVLに防錆性能を付与した新製品を投入するなど、収益性向上のための施策を実施しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

(連結業績) (単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	97,548	92,671	△4,876	△5.0%
営業利益	3,790	2,857	△932	△24.6%
経常利益	4,197	3,371	△825	△19.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,087	1,986	△100	△4.8%

売上高につきましては、前第2四半期連結会計期間以降に連結損益に取り込んだ新規連結の子会社4社(北米のLVLに関する製造会社「CIPA Lumber Co.Ltd.」(以下、CIPA社)及び「PACIFIC WOODTECH CORPORATION」(以下、PWT社)、東京都内を中心にリフォーム事業を展開する「(株)リフォームキュー」、無垢床材の製造、販売、工事を手掛ける「(株)テーオーフローリング」)の業績を、当第2四半期連結累計期間は期首から取り込んだことによる増加がありましたものの、国内外におけるMDF、商業施設及び宿泊施設向けの量、新築住宅及びリフォーム向けの床材、ドアなど、既存事業製品の販売減により、減収となりました。

利益につきましては、合理化・コストダウン、販管費の削減に努めましたが、既存事業製品の減収による利益減の影響を吸収するには至らず、減益となりました。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

素材事業

素材事業につきましては、売上高は、前連結会計年度からの米中貿易摩擦に起因する市況悪化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による国内外の需要減に伴うMDFの販売減やインバウンド需要の急減に伴う量の受注減などの影響がありましたものの、前第2四半期連結会計期間より連結損益に取り込んだCIPA社及びPWT社の業績を、当第2四半期連結累計期間は期首から取り込んだことにより、増収となりました。

利益につきましては、合理化・コストダウンに加え、前第2四半期連結会計期間より連結損益に取り込んだCIPA社及びPWT社の業績を、当第2四半期連結累計期間は期首から取り込んだことによる増加がありましたものの、既存事業製品の減収による利益減の影響を吸収するには至らず、減益となりました。

(素材事業の業績) (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	36,365	36,660	294	0.8%
営業利益	1,129	889	△240	△21.3%



▲米国のLVL製造会社 PWT社

建材事業

建材事業につきましては、売上高は、公共・商業建築分野向けのドアや床材などの採用増に加え、前第3四半期連結会計期間より連結損益に取り込んだ「(株)テーオーフローリング」の業績を、当第2四半期連結累計期間は期首から取り込んだことによる増加がありましたものの、消費増税後の反動減に、新型コロナウイルス感染拡大の影響が加わり、新築住宅及びリフォーム向けの床材、ドア等の販売が減少し、減収となりました。

利益につきましては、合理化・コストダウン等に努めましたが、減収による利益減の影響を吸収するには至らず、減益となりました。

(建材事業の業績) (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	46,652	42,309	△4,342	△9.3%
営業利益	2,226	1,497	△729	△32.8%



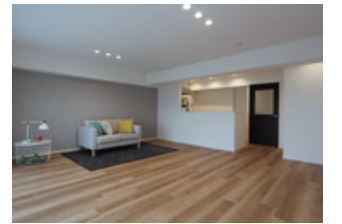
▲床材:「コミュニケーションタフ 防音FW3」(THE HIRAMATSU 京都)

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前第2四半期連結会計期間より連結損益に取り込んだ「(株)リフォームキュー」及び前第3四半期連結会計期間より連結損益に取り込んだ「(株)テーオーフローリング」(工事)の業績を、当第2四半期連結累計期間は期首から取り込んだことによる増加がありましたものの、ビル、オフィスの内装工事の需要減などにより、減収・減益となりました。

(エンジニアリング事業の業績) (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	10,152	9,415	△736	△7.3%
営業利益	329	253	△75	△23.1%



▲マンションリノベーションの事例

通期の見直し 通期の連結業績の見直しは、売上高1,900億円(前期比6.2%減)、営業利益63億円(同24.9%減)、経常利益70億円(同23.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益40億円(同26.6%減)を計画しております。

天然木突板不燃壁材「グラビオUS」と 天然木突板不燃ルーバー「グラビオルーパーUS」を発売

製品バリエーションの拡充により“不燃のメニュー化”を実現

2020年8月21日、基材に当社の独自素材「ダイライト」を使用することで軽量でありながら高い不燃性・加工性を兼ね備える不燃壁材「グラビオシリーズ」の上級グレード品として、天然木突板を表面材に用いた不燃壁材「グラビオUS」と、不燃ルーバー「グラビオルーパーUS」を発売しました。

当社は、今年度新製品として、上記製品を含む6つの不燃建材を発売。製品バリエーションの拡充により、当社が重点市場として位置付ける公共・商業建築分野において、お客様のご希望に応じた製品をお選びいただきやすくする“不燃のメニュー化”を実現しました。

今後も、お客様から「不燃といえばDAIKEN」と第一にお声がけいただけるよう、幅広いグレードと機能性、豊富なラインアップを強みとして、“不燃”を切り口としたご提案を進めてまいります。



▲壁に「グラビオUS」、天井に「グラビオルーパーUS」を用いた空間イメージ

ねこ向け建材のラインアップを大幅に拡充

ねこの習性に配慮した製品で空間をコーディネート

2020年8月21日の新製品発売において、拡大するねこ市場に向けた「ねこにも人にも優しい暮らし」のご提案として、ねこに特化した製品ラインアップの拡充を行いました。

今回、高いところや狭い場所を好むねこの習性に合わせた「ねこルート」「ねこボックス」、収納スペースとねこの通り道や隠れ家を両立した「ねこシェルフ」、システム収納「ミセル」に滑りに配慮した表面シートを採用した「ミセル ねこ対応カウンター」、屋外への不意の飛び出しを防ぐ「ねこゲート」を新たに追加。ねこの習性に配慮した機能性・安全性を付与したほか、2015年の発売以来順調に売上を伸ばしている「ねこステップ」など既存のペット向け建材と組み合わせることで、DAIKENならではの“ねこ向け空間”のトータルコーディネートも可能となりました。



▲「ねこシェルフ」と「ねこステップ」を組み合わせた施工例

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	87,934	86,038
固定資産	82,612	82,452
有形固定資産	51,426	51,069
無形固定資産	14,834	14,624
投資その他の資産	16,351	16,759
繰延資産	91	71
資産合計	170,638	168,562
負債の部		
流動負債	77,575	65,070
固定負債	30,087	36,095
負債合計	107,662	101,165
純資産の部		
株主資本	57,059	58,164
その他の包括利益累計額	△1,281	1,367
非支配株主持分	7,197	7,865
純資産合計	62,975	67,397
負債純資産合計	170,638	168,562

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	97,548	92,671
売上原価	73,258	69,502
売上総利益	24,289	23,169
販売費及び一般管理費	20,499	20,311
営業利益	3,790	2,857
営業外収益	708	880
営業外費用	301	366
経常利益	4,197	3,371
特別利益	124	374
特別損失	557	139
税金等調整前四半期純利益	3,764	3,607
法人税等合計	1,223	1,025
四半期純利益	2,541	2,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	453	595
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,087	1,986

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,435	3,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,612	△1,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,490	217
現金及び現金同等物に係る換算差額	△222	140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,909	2,171
現金及び現金同等物の期首残高	16,865	16,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,955	19,011

会社の概要 (2020年9月30日現在)

設立年月日 1945年9月26日
 資本金 153億円
 本社及び事業所
 本社大阪事務所 大阪市北区中之島三丁目2番4号
 東京事務所 東京都千代田区外神田三丁目12番8号
 支店 北海道(札幌市)、東北(仙台市)、首都圏第一(東京都千代田区)、首都圏第二(さいたま市)、首都圏住設(東京都千代田区)、信越(新潟市)、中京(名古屋市中)、北陸(金沢市)、近畿(大阪市)、中国(広島市)、四国(高松市)、九州(福岡市)、シンガポール
 工場 三重工場(津市)、井波工場(富山県南砺市)、岡山工場(岡山市)、高萩工場(茨城県高萩市)
 子会社(国内) 株式会社ダイフィット(鳥取県倉吉市)
 株式会社ダイウッド(三重県伊賀市)
 セトウチ化工株式会社(岡山市)
 富山住機株式会社(富山県砺波市)
 株式会社テーオーフローリング(東京都練馬区)
 株式会社ダイタック(岡山市)
 会津大建加工株式会社(福島県会津若松市)
 日南大建株式会社(鳥取県日野郡日南町)
 C&H株式会社(大阪府岸和田市)
 エコテクノ株式会社(東京都千代田区)
 ダイケンエンジニアリング株式会社(大阪市)
 鉱工業株式会社(東京都千代田区)
 三恵株式会社(大阪府東大阪市)
 ダイケンホーム&サービス株式会社(大阪市)
 株式会社スマイルアップ(大阪市)
 株式会社リフォームキュー(東京都品川区)
 株式会社パックシステム(東京都品川区)
 子会社(海外) 大建工業(寧波)有限公司(中国)
 大建阿美呢体(上海)商貿有限公司(中国)
 PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA(インドネシア)
 DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED(ニュージーランド)
 DAIKEN SOUTHLAND LIMITED(ニュージーランド)
 DAIKEN SARAWAK SDN.BHD.(マレーシア)
 DAIKEN MIRI SDN.BHD.(マレーシア)
 CIPA Lumber Co.Ltd.(カナダ)
 PACIFIC WOODTECH CORPORATION(米国)

役員 (2020年9月30日現在)

取締役

代表取締役 億田正則
 代表取締役 相原隆
 代表取締役 加藤智明
 代表取締役 播磨哲男
 取締役 関野博司
 社外取締役 水野浩児
 社外取締役 古部清吾
 社外取締役 石崎信吾

監査役

常勤監査役 照林尚志
 常勤監査役 冬木敏裕
 社外監査役 勝尾子潔
 社外監査役 向原

執行役員

社長執行役員 億田正則
 専務執行役員 相原隆
 専務執行役員 加藤智明
 専務執行役員 播磨哲男
 常務執行役員 吉田和雅
 常務執行役員 野村孝伸
 常務執行役員 飯沼友明
 上席執行役員 早瀬幸武
 上席執行役員 永田英保
 上席執行役員 伊藤雅一
 上席執行役員 松川健彦
 上席執行役員 内海正治
 執行役員 東出賢樹
 執行役員 伊勢田正弘
 執行役員 西脇正樹
 執行役員 金田正樹
 執行役員 山崎弘樹
 執行役員 郷原秀樹
 執行役員 森野勝久
 執行役員 遠藤稔
 執行役員 清宮基二
 執行役員 上田浩二

株式の状況 (2020年9月30日現在)

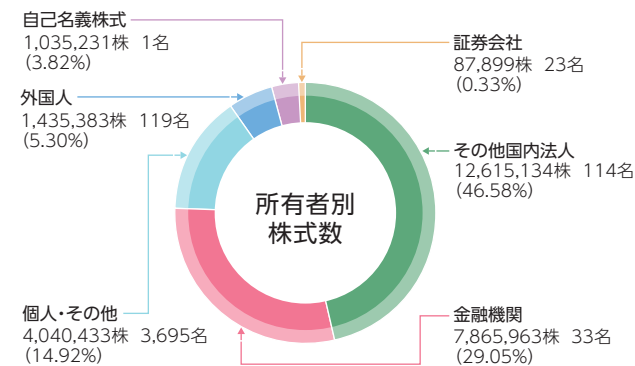
発行可能株式総数 79,643,600株
 発行済株式の総数 27,080,043株
 株主数 3,985名

大株主の状況 (2020年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	9,358,700	35.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,184,600	4.5
株式会社三井住友銀行	986,980	3.8
住友生命保険相互会社	931,200	3.6
株式会社日本カステディ銀行(信託口)	838,000	3.2
大建工業取引先持株会	809,900	3.1
三井住友信託銀行株式会社	688,000	2.6
住友林業株式会社	638,200	2.5
大建工業従業員持株会	614,149	2.4
丸紅株式会社	564,388	2.2

(注) 1. 当社は、自己株式を1,035,231株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

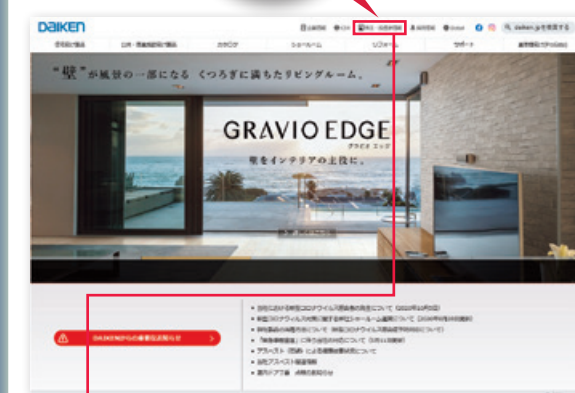
株式分布状況 (2020年9月30日現在)



当社のホームページでも
 詳しい情報を開示しております。

<https://www.daiken.jp/>

大建工業 検索



「株主・投資家の皆様へ」では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、招集通知などのIRイベント情報など、豊富なデータがご覧いただけます。



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトで確認いただけます。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載する)
<<https://www.daiken.jp/>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所

表紙写真について



① 特殊加工化粧シート床材「ハピアフロア トレンドウッド柄」



② 深彫調不燃壁材「グラビオエッジ ピアンテ」



③ ねこ向け製品「ねこシェルフ」「ねこステップ」「ねこルート」「ねこボックス」



④ 天井用吸音パネル「KIN TONE (キントーン)」



⑤ 軒天井材「ダイライト軒天羽目板」、不燃天井材「グラビオ羽目板V」

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

UD FONT